

KANKOU TAKASAKI

観光たかさき

2014
AUTUMN 秋号
VOL.128

東国文化が花開いた上毛野国

古のまほろばを訪ねて

高崎の観光再発見

千年の伝説、歴代高崎藩主が引き継いだ水路〈長野堰〉



東国文化が花開いた上毛野国 古のまほろばを訪ねて



秋にはコスモスが見事な「井出二子山古墳」



古代東国文化発祥の地である群馬県。かつては「毛野」から始まり「上毛野国」、また大宝律令の制定（701年）の頃からは「上野国」と記され、呼び名も表記の変化と共に「かみつけのくに」もしくは「かみつけぬ（の）くに」「かみつけの（の）くに」そして「こうづけのくに」へと変わっていったようです。

群馬という地名は、榛名山東南麓に居住していた車持氏を起源とする学説があり、後に「車評」から「群馬郡」に改定したことに由来します。赤城山・榛名山が並んで長いすそ野を広げ、その間を南東に向かって流れる利根川。その西岸に「国府」・「国分寺」が置かれ、官道「東山道」が整備されました。

この地域は、1500年前に古代の王が国を拓いたところでもあり、土壌が豊かで、今では国府白菜や国分ニンジンなどブランド野菜をはじめ、甘みのあるおいしい野菜の産地でもあります。

これからご紹介する場所は、古墳時代から奈良・天平時代に繰り広げられた歴史ロマンへの扉が開くスポットです。

■ 古代への扉を開く
保渡田の復元古墳

群馬県は全国でも有数の古墳県です。出土品の内容などから高度な古代文化の存在が認められています。榛名山東南麓にも多くの古墳があり、中でも高崎市保渡田町・井出町にまたがる田園にある井出二子山古墳・八幡塚古墳・薬師塚古墳の3古





上毛野はにわの里公園全景（手前が八幡塚古墳。その上部に見えるのがかみつけの里博物館。右手奥が井出二子山古墳）



はちまんづか 八幡塚古墳

■かみつけの里古墳祭り

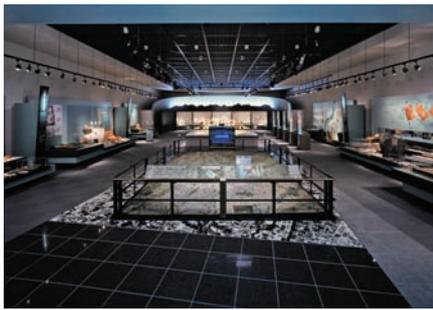
開催日時：2014年10月19日（日）
10時～15時
開催場所：上毛野はにわの里公園

1500年前の王が行っていた“マツリ”を「王の儀式」として再現。勾玉づくりや古代米の試食などもあり、古墳時代への時間旅行が楽しめます。



◀八幡塚古墳の後円部頂上の地中にある王の石棺

墳からなる国指定史跡「保渡田古墳群」が代表的です。「上毛野はにわの里公園」として整備され、墳丘の長さが100メートルもある大型の前方後円墳が2基復元されています。5世紀頃までに造られた古墳は、円墳や大型の前方後円墳に竪穴を掘って棺を埋葬しました。八幡塚古墳も例外ではな



■かみつけの里博物館（上毛野はにわの里公園内）

住所：高崎市井出町1514 TEL：027-373-8880
開館時間：9時30分～17時（入館は16時30分まで）
休館日：火曜（祝日の場合は翌日）
観覧料：一般200円、高校生・大学生等100円、65歳以上・中学生以下 無料
企画・特別展は別料金

■火山灰に覆われた1500年前の古代社会がよみがえる

1500年ほど前に榛名山東

く、復元古墳の頂上には埋葬された王の石棺が発掘当時のままに展示されています。その圧倒的なリアル感が、見る人を古代の世界に引き込みます。また、「三子山古墳」の後円部頂上の1m地中には、舟形石棺が保存されていて、実物大の写真で確認することができます。古墳の周囲には、当時行われていた儀式や生活習慣などを反映した人物・動物埴輪の素朴で愛らしい姿が見られ、古代人のおおらかな表現力に親近感がわいてきます。

「かみつけの里博物館」に、保渡田古墳群、三ツ寺I遺跡や周辺の土地から発見された遺物群が収容・展示されています。考古学者たちの研究成果をもとに復元した模型や、歴史的な重みのある出土品などから、王が行った政治や水を祀ったと考えられている祭祀の様子、この時代の組織や技術体系などが浮き彫りにされています。火山災害により大規模な農地の状況や農耕の様子が遺跡に残されたこ

南麓には、東日本でも有数の勢力を誇った王（豪族）がいました。「上毛野はにわの里公園」から700mほど離れたところに、日本で初めて発見された王の館跡「三ツ寺I遺跡」があります。現在、遺跡は埋められ見ることができませんが、その王族の墓が保渡田古墳群の大型前方後円墳と考えられています。6世紀初頭から中頃の間に、二度にわたる榛名山の火山災害によって、その王が支配したムラは火山灰に埋もれ保存状態がよく、現代までその姿を留めることができました。

とで、王や民の経済を支えた水田や畑、人々が暮らしたムラ、技術を携えて朝鮮半島からやってきた渡来人のムラや墓など、1500年前にこの地域に存在した古代社会の息吹が伝わってきます。

C O L U M N

住宅街のオアシス、水と緑の豊かな公園

住宅地にこんな立派な公園が!? と驚くほど広い池というより湖のある三ツ寺公園。湧き出る地下水が流れ込む三ツ寺堤の周囲を散歩したり、18,000㎡の広々とした湖面に白鳥ボートで乗り出したり、魚釣りをしたり、東屋から滝を眺めることのできる落ちついた和風庭園で休憩したりと、水と緑に恵まれ様々な表情のある公園は、大人が一日楽しく過ごせる憩いの場。また、ふわふわドームやローラー滑り台など、子どもたちの興味が尽きない遊具、噴水広場、昆虫観察ができる親水広場など、子ども向けの施設も充実しています。

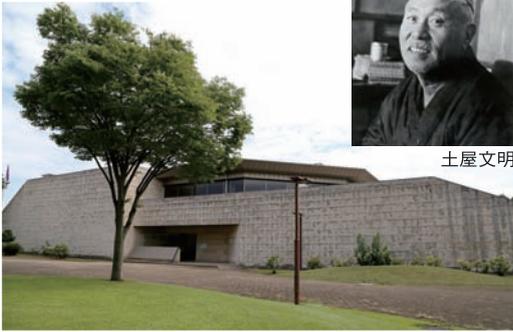
ボートは土日祝祭日のみで30分300円



■三ツ寺公園

住所：高崎市三ツ寺町221
TEL：027-373-2461
駐車場：約220台 大型可





土屋文明



◀常設展示「短歌の世界」では、『竹取物語』のかぐや姫をのよように、日本を代表する三十六歌人の人形が柱のケースの中に納められています。左は山部赤人、右は額田王。

■群馬県立土屋文明記念文学館（上毛野はにわの里公園内）
住所：高崎市保渡田 2000 TEL：027-373-7721
開館時間：9時30分～17時（入館は16時30分まで）
休館日：火曜（祝日の場合は翌日）
観覧料：一般 200円、高校生・大学生等 100円、
65歳以上・中学生以下 無料
企画・特別展は別料金

東歌に込められた
古代人の心情に触れる

古墳時代を堪能した後は、飛鳥・奈良時代の東国の人々の生活や恋心を描いた『東歌』の世界をのぞいてみましょう。
八幡塚古墳の北側に、保渡田出身の歌人・土屋文明の足跡を常設展示した「群馬県立土屋文明記念文学館」があります。
土屋文明は、日本人の心の発露ともいべき短歌を生涯読み続け、その源である『万葉集』の優れた研究者でもありました。
万葉集は7世紀から8世紀にかけての短歌や長歌を集めた日本

で一番古い歌集です。飛鳥時代から奈良時代にかけて様々な人が詠んだ4,500以上の歌をまとめています。その中に、奈良から東にある地方の人が作った「東歌」が230首あり、上毛野国（現群馬県）の人が詠んだ歌が一番多く25首含まれています。これについては土屋文明が『萬葉集 上野国歌私注』で、自分の意見をまとめています。
映像展示室では、「万葉集東歌紀行」という8分の映像で、5首の短歌を学ぶことができます。
可美都氣努 佐野乃布波奈之
登里波奈之 於也波左久礼騰 和波左可流賀倍
（上毛野の佐野にある舟を並べて渡した橋をバラバラにして離してしまうように、親は大好きなあのひとの仲をさこうとするけれど、私は絶対に離れるものか）、他4首。
万葉集の時代には漢字しかなく、漢字の音を借りて日本語を書き表すという「万葉仮名」を使用していました。

C O L U M N

ひよく
肥沃な土地のおいしい野菜を使った
おふくろの味&ジェラート

土屋文明記念文学館内にある農家レストラン「彩花」では、地元の朝採り野菜を使ったサラダや惣菜、具だくさんの味噌汁など、心も体もほっこりするメニューを提供。松花堂弁当、古墳カレーなどサラダ・味噌汁付きで800円。その他に地元産の野菜のおいしさを凝縮した野菜ジェラートもお勧めです。
この地域は、榛名山の噴火による火山灰の堆積でできた肥沃な土地で、甘くて柔らかいブランド野菜「国府白菜」や伝統野菜「国分にんじん」の産地として知られ、他の野菜も甘みがあっておいしいと評判。地元野菜の生産・加工・販売に取り組む農事組合法人「国府野菜本舗」が、農家レストランの運営とあわせて、JAはぐくに隣接した店舗でも、野菜や加工品、常時10種類のジェラート等を販売しています。



■農家レストラン〈彩花〉
住所：高崎市保渡田町 2000（土屋文明記念文学館 2F）
電話：027-373-7721（土屋文明記念文学館）内線 206
営業時間：平日 11時～15時
土・日曜日、祝日 11時～17時 定休日：火曜



■国府野菜本舗
住所：高崎市引間町 225
電話：027-373-1121
営業時間：9時30分～18時
定休日：水曜・日祝日午後

国の中心に置かれた
知の拠点・上野国分寺

飛鳥時代、大化改新（645年）により、それまで地方をおさめていた国造が廃止され、新たに国司が大和朝廷から任命され国府で政治をとるようになりました。その周辺に国分寺・国分尼寺が置かれました。

上毛野国の国府の場所は、まだ調査中で推定の域は出ませんが、旧国府村、西国分町、東国分町という「国府」や「国分寺」にまつわる地名の付近、現在は前橋市



上野国分寺跡に復元された築垣

元総社町地区とされています。
県道25号線を北へ向かいイオンモール高崎店前の交差点「辻久保」を右折して1・3kmほど行った左側、高崎市東国分町と前橋市元総社町にまたがって史



上野国分寺跡には、七重塔と金堂の基壇と、築垣の一部が古代工法によって復元。発掘調査は現在も継続され、今年新たに北面の回廊とみられる遺構が見つかり、金堂の位置の変更などの可能性も出ています。



■上野国分寺跡 ガイダンス施設「上野国分寺館」
住所：高崎市引間町 250-1 TEL：027-372-6767
開館時間：9時30分～16時30分（入館は16時まで）
閉館日：年末年始入館無料



天平の風を感じる「上野国分寺まつり」▶

2014年10月26日（日）開催。
講演会や発掘現地説明会のほか、当時の服飾文化を再現した天平の衣装行列や雅楽の調べ、舞などの天平文化を楽しみ、国府白菜の千人鍋などが味わえます。



創建時の上野国分寺（想像図：県教委提供）



跡「上野国分寺跡」があります。奈良時代の天平13年（741）に、災害や疫病、政治の乱れに苦しんだ聖武天皇は、仏教の力でこれを治めようと、全国68の国々に国分寺（国分僧寺と国分尼寺）を造らせ、京には東大寺を建立する詔を發しました。西に僧寺・東に尼寺が並ぶように建てられ、あわせて「国分二寺」

とも呼ばれますが、やがて七重塔を有し大規模な伽藍を持つ国分僧寺が「国分寺」と呼ばれるようになりました。

■シンボリックにそびえ建った

高さ60mもある七重塔

上野国分寺の寺域は、東西約220m、南北約235mで四方を築垣（土塀）に囲まれていました。本尊の釈迦像を祭る金堂を中心に南に中門・南大門、北に講堂・北門、西側に高さ60・5mもある七重塔がそびえ、特に上野国分寺は、全国の国分寺の中でも早い時期に整ったといえます。

僧寺と尼寺には、それぞれ漢

字の知識を持ち高い教養のある20人の僧と10人の尼僧がいて、仏教の教えや公衆衛生の知識、正しい生活習慣などについて民への浸透を図ったといえます。

しかし、政教分離や平安遷都など移り変わるときの中で、仏教をもつて国を安寧に導くという聖武天皇の壮大な夢はあまり長くは続きませんでした。古い記録などから1000年頃には築垣や仏像が壊れ、南大門が無く残り、14世紀代までには、残っていた金堂も失われました。

■史料とストーリーで歴史ロマンを伝えるガイダンス施設

上野国分寺建立にあたって、749年（天平勝宝元年）に確水郡の石上部と勢多郡の上毛野両氏が献物をしたことが、「続日本紀」に記されています。ガイダンス施設「上野国分寺館」には付近から出土した瓦が展示され、天平期から平安時代に及ぶものまであり「吉井」「大山」「羊」など郡名や郷名、人名と思われる文字が刻まれたものが多く出土し、各地の豪族からの

C O L U M N

手づくりスコーン & マフィンの店

高崎渋川線の足門交差点の側にある「はかりうりのおやつ」の店。「おいしく食べると「心と体の栄養」になる」と、この店を一人で切り盛りする金子悠里さんは、材料にこだわり、納得のいくおいしさを追求しながら、スコーンやマフィン、ビスケットなど焼き菓子を手づくりし販売しています。

サクッとした表面に中がふんわりしたスコーンは、1g=3円で1個250円前後。トッピングの素材が引き立つマフィンは、1g=2.5円で1個280円前後。つくり手の顔の見える安心のおやつは、自宅使いに、手土産に、素敵なティータイムのお伴にお勧めです。



■はかりうりのおやつ Gram lump (グラムランブ)
住所：高崎市足門町 819-5
TEL：027-388-0395
営業時間：11時～19時
（完売次第閉店の場合あり）
定休日：水曜、その他に休業する場合もあり

寄進があつたことがうかがえます。また、七重塔の20分の1の縮尺模型が目を引くほか、想像図や発掘調査成果等が展示され、解説映像資料の上映なども行っています。特に解説員の方が紡ぐストーリーが興味深く、古代の東国歴史ロマンが膨らみます。

01

EVENT

第25回 高崎マーチングフェスティバル記念大会

10 | 11・12
(土) (日)



高崎マーチングフェスティバルは25回を迎える本年、記念大会として米国より2013年のDCIチャンピオンに輝いたキャロライナ・クラウンを特別招聘します。二日間にわたり4つのイベントに出演するキャロライナ・クラウンの演奏演技はもちろん、国内トップバンドの出演、市内の子どもたちから大人まで数多くのバンドによる華やかなフェスティバルをお楽しみください。

●10月11日(土)

バンドクリニック もてなし広場とその周辺 10:00～12:50
記念コンサート 群馬音楽センター 18:00～19:30
キッズドリル 城南球場 10:00～14:00

●10月12日(日)

パレード シンフォニーロード～城南球場 10:00～13:00
フィールドドリル 城南球場 11:00～15:00
街角コンサート 市役所前広場 12:30～15:00

各チケット好評発売中 *上記記述の時間帯は予定です。当日は変更する可能性があります

●お問い合わせ：高崎マーチングフェスティバル協会事務局 TEL.027-326-5926

02

高崎バル 2014・秋

EVENT

10 | 16～19
(木) (日)

《あとバル》
10月20日(月)～31日(金)

高崎バル
TAKAZAKI BAR 2014 AUTUMN
2014・秋



高崎中心市街地の飲食店では10月16日(木)～19日(日)にかけて、会社帰りや買い物帰りに「食べ歩き」と「まち歩き」を楽しんでいただく飲食イベント「高崎バル2014・秋」を開催いたします。

バルとは、いつでも立ち寄れる気軽なお店という意味で、参加店がお店の特徴を生かしたワンドリンク・ワンメニューのお得な「バルメニュー」を用意し、お客様の来店をお待ちしております。

6回目の開催となった初夏の開催では、和食・洋食・中華やイタリアン、カフェやバーなど、バラエティーに富んだ81店舗が参加し、4日間で延べ7千人近いお客様で賑わい、回を重ねるごとに参加者も増えてきております。

前回楽しんだ方も、初めて知った方も「高崎バル2014・秋」にぜひご参加ください。「高崎バル2014・秋」の参加店舗並びに各店舗のバルメニュー等の情報は、ガイドマップや高崎商工会議所のホームページでご案内しております。是非この機会にまちなかの「食べ歩き」と「まち歩き」を楽しんでください。

●お問い合わせ：高崎バル実行委員会(高崎商工会議所内) TEL.027-361-5171

03

EVENT

第11回たかさき雷舞フェスティバル

10 | 19
(日)

午前10時～午後5時

- もてなし広場
(メイン会場)
- 高崎駅西口会場
(まちなか会場)
- 高崎駅東口会場
(まちなか会場)



「轟くこと雷鳴の如く激しきこと稲妻の如し」と謳われる第11回たかさき雷舞フェスティバルを10月19日(日)に開催します。

開催以来初めてとなる高崎駅西口の駅前通りを会場にし、迫力のある流し踊りを披露します。

今年も被災地復興支援として、宮城・福島・茨城県からチームが参加するほか、東北地方の特産品を販売する高崎つながり屋台横丁も開催します。

市内外、県外から約40チームが参加。900人に及ぶ踊り子たちが集い、ダイナミックな熱い演舞を市内で繰り広げます。

●お問い合わせ：たかさき雷舞フェスティバル実行委員会事務局(高崎市観光課内) TEL.027-321-1257

04

TSKキッズ広場 2014 with ゴム動力自動車コンテスト

EVENT

10 | 26
(日)

午前10時～午後4時
もてなし広場



●「キッズ広場」

各種団体協力のもと、子供だけではなく、大人も楽しめるイベント、展示、アトラクションを毎年行っております。今年はオリジナル缶バッチの作成(有料)やご当地アイドルのAKAGIDAN-AKG-のステージもあり、より一層楽しめる内容となっております。

●「ゴム動力自動車コンテスト」

ゴム動力で走る自動車を70mコースで走らせ、そのタイムを競うもので、各種マスメディアにも取り上げられるなどして注目を集めております。今年は、一般の出走者以外にも高校生チームが参加し、迫力のある走行を見せてくれます。

●お問い合わせ：高崎市青年商業者研究会(TSK)事務局(高崎市商工振興課内) TEL.027-321-1256

EVENT

EVENT

キングオブパスタ2014

●05

11|9
(日)午前10時～午後4時
もてなし広場

キングオブパスタは高崎のパスタ文化やその美味しさ、魅力を発信するため、2009年に産声を上げました。

6回目を迎える今年は、歴代優勝の3店舗を含む15店舗が自慢の味を競います。参加方法は、5枚綴りのチケット(当日1,500円)を購入し、5食を試食した後が一番美味しいと思ったお店に投票し、キングオブパスタ(グランプリ)が決定します。枚数限定の前売りチケット(1,400円)は、10月11日(土)から高崎駅ビジターセンター、出場15店舗などでご購入いただけます。詳しくはウェブサイトをご確認ください。

また、会場内にはたくさんの楽しいアトラクションもあり、ご家族連れなどにもお楽しみいただけます。

全国有数のパスタ激戦区である高崎市。そこでしのぎを削るパスタ店の技と味の競演をお楽しみください!

●お問い合わせ: キングオブパスタ実行委員会 TEL.027-323-2868

第86回高崎えびす講市

EVENT

●06

11|15・16
(土) (日)

高崎市内の小売業者が商売の福神様であるえびす様に一年の商売繁盛を祈願するとともに、お客様への日頃のご愛顧に対し、年に一度の報恩感謝の意を込めて大売出しを行う商都高崎を代表する商業イベントです。

今年は11月15日(土)～16日(日)に開催され、お客様への報恩感謝と廉売を形に表した、『えびす札』と呼ばれる抽選券付きの目玉商品を販売致します。毎年お客様にご好評をいただいている豪華景品が当たる「大抽選会」をはじめ、高校生が商品の販売と接客を競う「熱血!高校生販売甲子園」を実施します。

他にも、「富くじ抽選会」、「千社札めぐり」、「横浜大道芸」や「まちなかファッションショー」など各商店街独自の多彩なイベントも多数行われており、開催期間中は中心市街地が熱気に包まれます。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

●お問い合わせ: 高崎えびす講市実行委員会事務局(高崎商工会議所内) TEL.027-361-5171

EVENT

高崎光のページェント2014

●07

11|22~12|25
(土) (木)午後5時～10時
高崎駅西口駅前広場
高崎駅西口線

※12月27日に飾り付けで使用したお花をプレゼントします。

高崎の冬を鮮やかに彩る「高崎光のページェント」は1994(平成6)年に始まりました。

21回目の開催となる今年は「たかさき花あかり」をテーマに、たくさんのお花と光で皆様を包みます。

高崎駅西口駅前ロータリーには、シンボルツリーのケヤキを中心に素敵なきらめくフォトスポットが登場。駅前通りは、花の装飾と様々な光の演出で彩り輝き通りとなります。恒例の子供達が制作する光のキャンバスは、ペDESTリアンデッキ上に。昼は花の美しさ、夜は花と光のコラボレーションで、まちを幻想的に演出します。

2008年開催の高崎花路花通りから6年。再び高崎市街地が花であふれます。花と光の織りなす幻想的な空間をお楽しみください。

●お問い合わせ: 高崎光のページェント実行委員会 TEL.027-330-5333



ようこそ高崎 人情市

開催時間が異なります

平成26年10月26日(日) (午前10時～午後4時) ※会場: もてなし広場
平成26年11月23日(日) (午前8時～午後3時) ※会場: もてなし広場
平成26年12月21日(日) (午前8時～午後3時) ※会場: もてなし広場

●お問い合わせ: 事務局 NPO 法人高崎やる気堂(高崎市剣崎町1348-1)

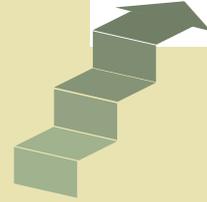
TEL 027-343-5130 FAX 027-340-7067 <http://ninjou.gunmablog.net/>



●08

ながのぜき 長野堰

染色のまち高崎に流れる



千年の伝説、歴代高崎藩主が引き継いだ水路

●高崎城下と領内を潤す16km水路

高崎の中心市街地の北を流れる用水路「長野堰」は、武田信玄の進行を防いだ箕輪城主・長野業政が16世紀初頭に開削したことから、その名を名付けられたという。しかし、伝説によれば実は平安時代に長政の先祖、上野国守・長野康業がもともと開いた用水で、千年の歴史を持つとも言われている。

長野堰は、榛名山のすそ野、箕輪城にも近い高崎市本郷町の烏川から取水された田園地帯から市街地へ至る用水で、岩鼻町で再び烏川に合流している（烏川は利根川の支流）。

長野氏が開いた長野堰は現在よりもはるかに小規模と考えられ、水路の延長は1598年（慶長3年）に箕輪から高崎へ城を移した初代高崎城主・井伊直政が進めた。水路事業は歴代城主によってその後も引き継がれ、現在の水筋が徐々に整えられていった。総延長16kmに及ぶと、高崎藩領のほぼ全域約1,700ヘクタールを潤すことができた。現在でも取水口は壮観で、豊かな水

量が流れている。江戸時代は、西新波堰、もしくは大川と呼ばれた。高崎藩以前の武将の名が付く「長野堰」の呼び方は、その頃の城主には面白くなかったのかもしれない。

●榛名湖から取水を計画した輝貞公

長野堰の水は高崎城下に引かれ、お城や城下町の用水に使われた。領内の新田開発が進むと、水量が足りなくなり対策が迫られた。元禄時代の城主・大河内右京大夫輝貞公は、長野堰の改良に熱心で、榛名山にトンネルを掘って、榛名湖から水を引く計画に着手した。ところが吾妻側から猛反対を受けた。幕府の判断で工事は中止になってしまった。榛名湖南の摺白岩下には、掘りかけのトンネルが今も残っており、「右京濠」と言われるが、「右京のただ濠」「右京の泣き濠」など、ずいぶんな呼ばれ方もされている。それから200年後の明治37年、ようやく榛名湖からの取水工事は実現された。

●高崎の染物を支え育てた長野堰

井伊直政は箕輪城から高崎城へ城下町も移し、高崎城下に染め職人の集ま

る紺屋の町が誕生した。高崎の染物は江戸時代からの歴史があり、西上州一帯から集まる高崎絹を染め、「高崎にあれば染物の仕事が間に合う」とまで言われたそうだ。染物職人の多くは、長野堰とそこから城下に引いた支流の水を利用した。旧市の北部には、戦後に至るまで長野堰に沿って多くの染工場があり、染物の洗い場が長野堰に張り出していた。護岸は石積みで長野堰の川流しは、昭和20年代まで盛んに見られた風景である。

長野堰の水利権は高崎藩や村同士の話し合いでルールが作られていたが、日照りになると水争いが起こり、時には凄惨な状況にも発展した。長野堰の支流には「地獄堰」と名付けられた用水があり、水争いの激しさが伝わってくる。水利の問題は明治以降も続き、昭和37年に地獄堰を含む4つの用水に平等に湧き上がる「円筒分水」が、高崎市立城東小学校の近く（高崎市江木町）に設けられた。サイフォンの原理で水が湧き上がる円筒分水は、全国でも珍しい施設で、水の流れも美しく、農林水産省の「疏水100選」に選ばれている。